

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	212	3年	前期	看護学科	必修	成人慢性期看護方法論 Adult Chronic Care Nursing Methods	30	1
担当教員								
光井 綾子	高橋 博子	仲田 琴美		松井 美由紀		仲田 由美		
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
慢性疾患の特徴や慢性疾患を抱えて生きる人とその家族の特徴を理解し、慢性疾患看護の実践に必要な知識、技術を身につける。								
到達目標（授業目標）								
慢性の健康問題をもつ対象者とその家族の身体的、心理・社会的特徴を説明することができる。 代表的な慢性疾患の病態、検査、治療とその看護について説明することができる。 セルフマネジメント、生活の再構築に必要な援助について事例学習を通して具体的に述べるることができる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	授業ガイダンス、慢性期看護の考え方、TBLグループ編成テスト（光井綾子）							
2回	がん薬物療法を受ける患者の看護（がん薬物療法の特徴、薬物有害反応とその看護）（光井綾子）							
3回	慢性の造血機能障害をもつ人への看護（1） 急性白血病患者の事例学習（ミニテスト、事例展開）（担当者全員）							
4回	慢性の造血機能障害をもつ人への看護（2） 急性白血病患者の事例学習（事例展開）（担当者全員）							

5回	慢性の造血機能障害をもつ人への看護 (3)	急性白血病患者の事例学習 (成果発表) (担当者全員)			
6回	慢性の造血機能障害をもつ人への看護 (4)	急性白血病患者の事例学習 (ポスターセッション) (担当者全員)			
7回	慢性の造血機能障害をもつ人への看護 (5)	急性白血病患者の看護 (フィードバック) (光井綾子)			
8回	慢性の消化機能障害をもつ人への看護	(高橋博子)			
9回	慢性の循環機能障害をもつ人への看護 (1)	心不全患者の事例学習 (ミニテスト、事例展開) (担当者全員)			
10回	慢性の循環機能障害をもつ人への看護 (2)	心不全患者の事例学習 (事例展開) (担当者全員)			
11回	慢性の循環機能障害をもつ人への看護 (3)	心不全患者の事例学習 (成果発表) (担当者全員)			
12回	慢性の循環機能障害をもつ人への看護 (4)	心不全患者の事例学習 (ポスターセッション) (担当者全員)			
13回	慢性の循環機能障害をもつ人への看護 (5)	心不全患者の看護 (フィードバック) (高橋博子)			
14回	A: 慢性の内部環境調節障害をもつ人への看護 (腎不全) / B: 慢性期看護技術演習 (酸素吸入) (A: 光井綾子/B: 高橋博子・仲田琴美・仲田由美)				
15回	B: 慢性の内部環境調節障害をもつ人への看護 (腎不全) / A: 慢性期看護技術演習 (酸素吸入) (A: 高橋博子・仲田琴美・仲田由美/B: 光井綾子)				
16回					
17回					
18回					
19回					
20回					
21回					
22回					
23回					
24回					
25回					
26回					
27回					
28回					
29回					
30回					
成績評価方法及び基準					
筆記試験 (定期試験) 70%、演習 (グループ討議含む) 30%の割合で評価する。トータル60点以上を合格とする。					
教科書	鈴木志津枝・藤田佐和「慢性期看護論」第3版 (ニューヴェルヒロカワ)				
参考図書等	中西純子・石川ふみよ「リハビリテーション看護論」第2版 (ニューヴェルヒロカワ)、病気がみえるシリーズ				
授業時間外の学習について (授業準備のための指示)					
事例学習では人体の構造・機能および臨床病態学での学習内容の予習・復習が必要である。					
関連科目					
前科目	144 人体の構造・機能Ⅰ	145 人体の構造・機能Ⅱ	146 人体の構造・機能Ⅲ	156 臨床病態学Ⅰ(共)	157 臨床病態学Ⅱ(共)
後科目	215 成人看護学慢性期実	241 看護アセスメントⅡ			
実務家教員					
看護師 (医療機関)	光井 綾子	高橋 博子	仲田 琴美	松井 美由紀	仲田 由美
備考	第14回と第15回は、半分 (A・B) に分かれて授業を実施する。詳細は第1回の授業ガイダンスで説明する。				